

いしずえ

発行日 令和8年10月1日(木) 第215号

編集・発行：一般社団法人沼津建設業協会 広報みらい委員会
沼津市本田町9-33 電話(055)943-6726

<http://numazukenkyo.jp/>



魅力あるマチへ 沼津駅周辺総合整備事業

沼津市では現在、沼津駅周辺における交通の円滑化や南北市街地の一体化等によって、中心市街地の活性化を図る『沼津駅周辺総合整備事業』を進めています。

沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道高架事業をはじめとする6つの事業から構成されており、そのうち3つの事業はすでに完了しています。特定再開発事業による沼津駅北口の「田」沼津、市街地再開発事業による同駅南口の「イーラde」、駅北拠点開発事業による総合コンベンション施設「プラサヴェルデ」などがオープンし、沼津駅周辺に新たなにぎわいや交流が生まれま

また、鉄道高架事業を中心に、周辺の道路整備や土地区画整理などの都市基盤整備を進めており、中心市街地では徐々に街並みの変化が見えてきました。

それらの事業の進捗に併せ、鉄道高架事業によって移転する貨物駅の跡地の活用方法や、新しく生まれ変わる沼津駅舎・駅前広場などのデザインの検討を進めております。中心市街地をより快適に住みやすい「魅力のあるマチ」にするため、市民の皆様

沼津駅周辺総合整備事業の詳細はこちらから⇒

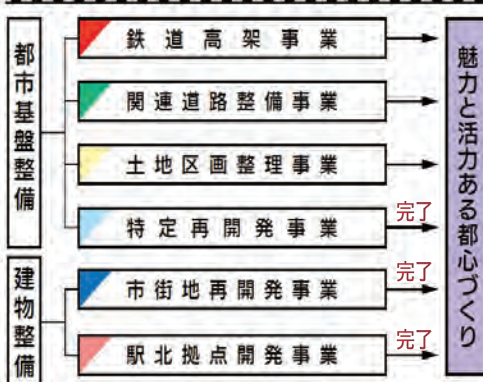


↓イーラde 平成20年3月 開館



↑総合コンベンション施設
「ふじのくに千本松フォーラム」
(愛称:プラサヴェルデ)
平成26年7月 開館

■沼津駅周辺総合整備事業のしくみ



着実に進む

鉄道施設本体工事

鉄道高架事業により、沼津駅を中心に東海道本線を3.7m、御殿場線を1.6m高架化し、沼津駅周辺の踏切が13か所除却され、8本の交差道路が平面整備されます。それに伴い、車両基地を片浜地区に、貨物駅を原西部地区に移転します。

新たな貨物駅である「新貨物ターミナル」は、鉄道施設本体工事の第一弾として、令和5年10月に着工しました。現在までに主な建造物である構内跨線橋が完成し、線路の敷設や駅本屋の建設が併せて進んでいます。

また、令和6年11月には、第二弾として新車両基地の整備に着工しました。工区内の造成工事と併せて南北をつなぐ(都)片浜西沢田線や片浜地区と沼津駅を直接結ぶ(都)大手町片浜線等の整備を進めています。

さらに今年度、ついに鉄道高架本体の工事着手を予定しています。

進捗は施設本体工事の
詳細はこちらから⇒



街並みをきれいに

土地区画整理事業

鉄道高架事業により発生する空地を有効活用し、中心市街地を面的かつ一体的に整備する「沼津駅周辺土地区画整理事業」は、新しい都心核の形成や良好な居住環境の整備を目的としています。

沼津駅の南西を事業区域とする「沼津駅南第一地区土地区画整理事業」は、令和7年9月に竣工しました。本事業により、三枚橋錦町線、添地西条線などの都市計画道路が整備され、建物の更新も進み、新しい街並みが創出されました。

同駅の東側では、「静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業」により、街区の一部で宅地や道路整備が進んでおり、昨年度からは一般住宅が建設され、すでに居住が始まっています。

沼津駅南第一地区土地区画整理事業(あまねガード南交差点)



静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業



土地区画整理事業の詳細はこちらから⇒



高架によって生まれる 新たな土地の活用

鉄道高架事業による鉄道施設の移転と駅付近のスリム化に伴い、中心市街地に広大な施設跡地と高架下空間が、新たに活用可能な土地として創出されます。これらの土地については、公共利用や民間投資による活用を図り、まちの活性化を促進していきます。

貨物駅の跡地となる土地は、沼津駅から西へ約1.5キロに位置し、周辺は工場や住宅地が近接する市街地となっています。

しかし、周辺に緑地や公園が少ないことや、避難スペースが不足しているという課題があることから、有事の際の活動拠点となる防災公園として整備する方針のもと、令和8年4月に都市計画上の公園として位置付けました。災害時に防災機能を発揮する拠点を形成するとともに、日常的な憩いや交流の場としての利用を促進し、誰もが楽しく、居心地よく過ごせる地域に根差した公園を目指しています。

今後は、高架下空間の活用や車両基地跡地の活用についても、引き続き検討を進めていきます。

貨物駅跡地利用基本計画
についてはこちらから↓



貨物駅跡地公園 俯瞰イメージ



検討が進む 新駅舎・駅前広場

鉄道高架事業の進展に伴い、現在、都市の顔となる沼津駅舎や駅前広場のデザイン検討を進めています。その一環として、鉄道高架後の沼津駅舎・駅前広場のデザインイメージ案を、令和7年11月に公表しました。

新たに生まれ変わる駅や駅前広場は、

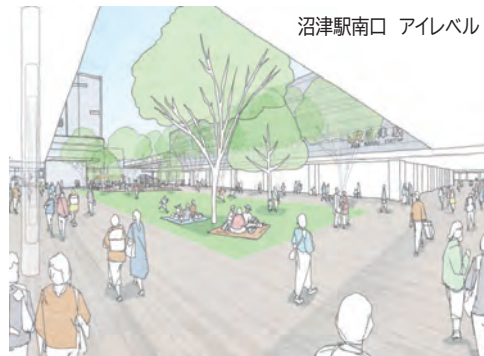
- ・えきとまちがつながる「大きなえき」
- ・使いやすい、にぎわいのある「えきまち広場」
- ・風景と調和し、人々の活動とともにつくる「沼津らしさ」

をデザインコンセプトに掲げています。

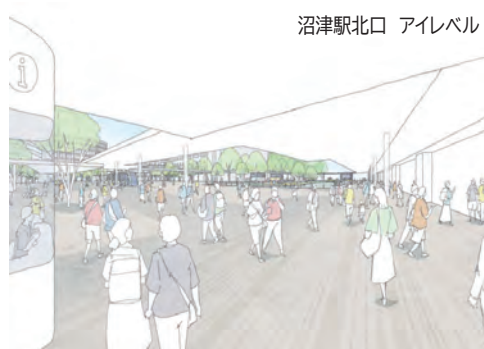
単なる移動空間ではなく、都市の魅力を引き出す場として、人々が快適かつ楽しく過ごせる空間を創出するべく、検討を進めていきます。

今後、ワークショップなどで市民の皆様の意見を伺いながら、令和8年度末には、駅舎や駅前広場などに関するデザインの基本的な考え方をまとめた「デザイン基本計画」を策定する予定です。

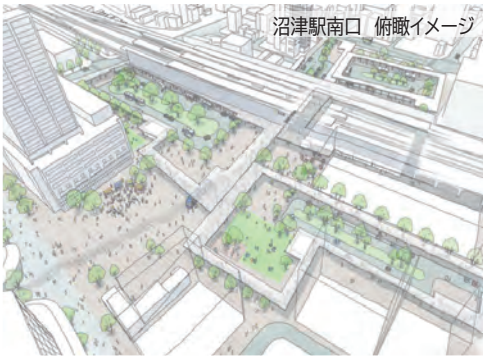
沼津駅南口 アイレベル



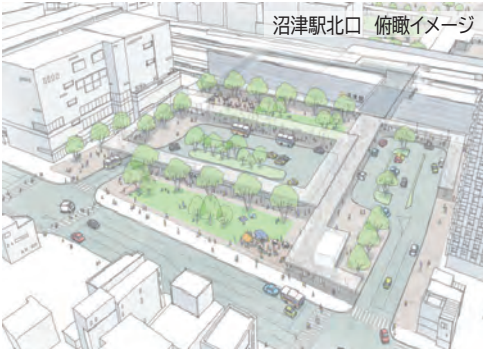
沼津駅北口 アイレベル



沼津駅南口 俯瞰イメージ



沼津駅北口 俯瞰イメージ



【お問い合わせ】

沼津市役所 沼津駅周辺整備部 推進課

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16-1

☎055-934-4768 ✉suishin@city.numazu.lg.jp

沼津のまちづくりに
ついてはこちらから⇒



デザイン検討の詳細は
こちらから⇒



資料作成・提供 沼津市

協会の動き

安全大会・安全祈願祭

6月2日、協会と建災防沼津分会は沼津市民文化センターで第55回安全大会及び安全祈願祭を開催し63名が参加した。

来賓として沼津労働基準監督署石井署長、県沼津土木事務所熊谷所長、東部農林事務所勝地所長ほかが出席した。安全大会では、労基署の土屋安全衛生課長による講習や安全宣言を行った。

安全祈願祭では、関係物故者に黙祷した後、工事の安全を祈願して玉串を奉呈した。

閉会にあたり加藤会長は「4月25日に沼津労基署管内で当協会の会員が施工中の工事で死亡事故が発生した。安全作業手順の再確認の徹底が必要である。皆で気づかう職場環境づくりの実践を通じて安全意識の高揚を図ることが重要である。」とあいさつした。



就職に関する意見交換会

6月15日、経営厚生委員会（勝又恵一郎委員長）と技術委員会（鈴木昌彦委員長）の共催で、協会会議室を会場に、協会員20名と県立沼津工業高校の都市環境工学科・建築科の就職担当教諭2名が出席して高校生の就職に関する意見交換会を開催した。

建設業界への若手入職者の減少に歯止めをかけ、担い手を確保するため企画しているもので、平成29年度から継続し、今年度は10回目となる。

教諭から、生徒の就職・進学状況や就職に対する生徒の考え方、学校側の生徒指導状況などの説明を受けた後に意見交換を実施した。

会員からは、生徒の具体的

な希望条件について、給与や休暇を重視している生徒が多いこと、就職先の決定に際し、親の意向で自宅から通勤できる企業を望む生徒が増加していることについての質問や意見が出された。



沼津土木事務所幹部と協会役員との懇談会

7月15日、令和8年度の県沼津土木事務所と協会役員との懇談会を協会で開催し、30人が出席した。

冒頭、加藤会長は、「地域建設業は地域インフラの守り手である。特に巨大地震災害に備えた訓練を繰り返すことが大事。BCPの策定を会員に働きかけ、企業、従業員、地域社会を支える母体となるよう、努力していく。」と挨拶した。続いて熊谷沼津土木事務所長

の挨拶のあと、沼津土木事務所の事業概要に関する説明が行われた。その後、当協会からの意見・要望についての説明があり、議論も行われた。その後、「中東情勢の影響による工事資材不足、価格高騰について」意見交換を行った。



沼津工業高校との連携・支援

沼津建設業協会では、沼津工業高校との連携・支援の強化を図っており、6月9日には、建築科3年生の現場見学、6月23日には、都市環境工学科3年生の現場見学、9月24日には建設デザイン科1年生の現場見学を行った。継続的取組として、建築科2年生の「測量実習の支援」と「こども夏だいがくイベント」への

協力参加を行った。 ◇都市環境工学科3年生の現場見学

6月23日に、実際の工事現場を知ることにより、建設の仕事に対する魅力とやりがいを感じ、自己の進路実現を達成させる目的で、沼津市内及び御殿場市内の2箇所（沼津南一色線橋梁仮設工事、原里市民の森整備工事）を見学した。生徒からは、「建設技術者の方からの杭ナビ（三次元データ）を使用した現場測量の実際の作業を分かり易く丁寧な説明により見学でき、土木工事の仕事の意義を理解できた」との感想が寄せられた。



◇こども夏だいがく協力参加

8月1日、沼津工業高校建築科は、プラサヴェルデで行われた子供向けの科学体験イベントに参加し、ミニチュアの製作体験コーナーを設け、会員2社がイベントに協力参加した。

本番前の木材加工の準備段階から、生徒と社員が共同で汗を流し、本番当日は、生徒が先生役になってこどもたちにミニ椅子の作り方を教え、協力会員は生徒のバックアップに努めた。

生徒と建設業との距離を縮めたい、協会とのコラボで実施したいとの学校からの要請に応じたもの。生徒は、こどもに木工作業体験を通じて完成品ができる楽しさを伝えていた。



災害対応講演会

7月17日、災害対策委員会（白井康晴委員長）は、協会会議室を会場に、災害対応講演会を開催し、36人が受講した。講師は、防災学を専門とする岩田孝仁静岡大学防災総合センター客員教授が担当した。テーマは「想像力の欠如に陥らない防災。地元企業としていかに備えるか」。災害を想定外とせず、地域社会で防災を考え、備える必要性を主眼とした。

内容は、企業は地域防災の拠り所にもなることを踏まえて、BCM（マネジメント）の成果をBCP（計画）に反映する取組みが示され、経営者のサポートが重要であるとの説明があり、受講者に、大変好評であった。



労働災害防止セミナー

7月24日、安全委員会（長岡重弘委員長）「労働災害防止セミナー」を協会会議室で開催し、協会会員20人が受講した。

沼津労働基準監督署の土屋安全衛生課長が、「高年齢者の労働災害防止対策」をテーマに高年齢者が他の世代と比べて、労働災害の発生率が高い現状を踏まえ、高年齢者の健康や体力の状況に応じた対応として、職場環境の改善について講義を行った。具体的には令和8年2月に、厚労省が策定したエイジフレンドリー指針の内容について詳細に説明された。



献血運動

7月27日、経営厚生委員会（勝又恵一郎委員長）は沼津市香陵アリーナで毎年恒例の献血運動を実施した。

地域貢献活動の一環として、静岡県赤十字血液センター沼津事業所からの依頼に応えるもので、一般の市民や会員計39人に協力していただいた。

親子現場見学会

8月5日、広報みらい委員会（稲村明子委員長）は第30回親子現場見学会を実施した。今回は、宮ヶ瀬ダム（神奈川県）と愛川町のあいかわ公園を訪れ、親子18組と委員を合わせて51人が参加した。

宮ヶ瀬ダムは洪水調節、神奈川県内での水道水確保、発電等の役割を担うため、200年に完成した重力式コンクリートダムである。水とエネルギー館でのダムの概要説明の後、ダム直下に移動し、約6分間のダム放流を間近で見学した。水しぶきを浴びてダムを体感でき、迫力ある光景に参加者は驚嘆していた。

土木施工管理技士会沼津地区技術研修会

8月28日、静岡県土木施工管理技士会沼津地区（渡邊正人地区長）は、協会会議室を会場に、技術研修会を開催した。この研修会は技術力向上とCPDS取得を目的として毎年開催しており、今回は52人が参加した。

午前中は福井コンピュータ（株）による「Construction2020とBIM/CIMの最新動向」研修と会員による工事論文発表、午後は、原中央コンサルタンツ（株）静岡事務所所長による「道路の維持管理」、沼津土木事務所工事第一課平井主査と望月技師による「黄瀬川大橋豪雨災害から復旧までの道の



り」沼川新放水路整備課久保田主任による「沼川新放水路整備事業の現状について」の技術講演会が行われた。



強化安全パトロール

9月2日、安全委員会（長岡重弘委員長）は、沼津労働基準監督署土屋安全衛生課長、沼津土木事務所八木検査監の同行を得て、全12人で強化安全パトロールを実施した。

対象となった沼津市内の災害復旧道路工事、河川対策工事の計2箇所の工事現場で、書類や掲示物、重機、作業場の安全対策などの確認を行った。

河川対策工事では、建設事故防止に向けた安全サイクルの取り組みが評価された。両現場とも夏場の工事では、冷却機能付作業着や水分・塩分

の常備など、熱中症対策を徹底していただきたいと呼びかけた。



会員旅行

2年に1度開催している全会員を対象とした研修旅行を6月19日～21日に行い、29名が参加した。今年は北海道を訪れ、建設デザインが斬新なエスコンフィールド及び札幌市内や小樽市内を回り、見識の向上と会員の親睦を図った。



各種講習会

- 建設工事従事者の技術向上・資格取得などを目的に、建設業労働災害防止協会静岡県支部は沼津分会（加藤修一分会長）の協力のもと、各種講習会を開催した。
- いずれの講習会でも、豊富な知識と実務経験を持つ講師が教鞭を執った。受講生は学んだことを今後の業務に生かすべく、真剣に講義に臨んでいた。
 - 足場の組立て等の業務に係る特別教育
 - 5月8日開催
 - 受講生 21人
 - フルハーネス型安全帯使用作業特別教育
 - 5月27日開催
 - 受講生 17人
 - 型枠支保工組立て等作業主任者講習
 - 6月16日～17日開催
 - 受講生 22人
 - 地山掘削及び土止め支保工作業主任者講習
 - 7月7日～9日開催
 - 受講生 32人
 - 足場の組立て等作業主任者講習

その他の事業

- 7月28日～29日開催
 - 受講生 26人
- 施工管理者等のための足場点検実務者研修
 - 8月26日開催
 - 受講生 23人
- 職長・安全衛生責任者教育
 - 9月9日～10日開催
 - 受講生 19人
- 技術委員会・技士会技術諸問題打合せ（6月4日）
- JCMセミナー（6月5日・12日）
- 技士会沼津地区代議員会（6月24日）
- 県建設業協会理事会（6月25日）
- 経営厚生委員会（7月14日）
- 災害対策委員会（7月17日）
- 県建設業協会理事会（7月23日）
- 広報みらい委員会（7月28日）
- 定例監査（7月30日）
- 理事会（8月7日）
- 県建設業協会情報伝達訓練（8月27日）
- 建設産業構造改善推進のつどい（9月9日）
- 県建設業協会理事会（9月17日）

地区だより

・広報みらい・経営厚生委員会研修旅行（9月25～26日・博多）

小山町建設業協会（会長田代和美）は、七月二十五日に行われた、「第六十二回富士山金太郎夏まつり」への協力を行った。

会員は昼の部にあしがらふれあい公園で行われた、川下りレース「おやまDEどんぶらこ」のコース設営と、小山町障害学習センターで行われた夜の部のステージ設営を行った。

昼の部の「おやまDEどんぶらこ」には60チーム以上の参加があり、夜の部は途中雨が降ったが、フィナーレの花火も無事に上がり、両会場とも大変盛り上がりがあった。



健康応援便

自分の健康と家族の健康 もう一度考えてみませんか

近年、たばこ製品は多様化しており、紙巻きたばこの喫煙者の割合は減少傾向にある一方、加熱式たばこの喫煙者は増加傾向にあります。

加熱式たばこは、火を使わないため煙がほとんど発生せず、紙巻きたばこに比べ臭いも少ないことから、喫煙者本人にも周囲にも影響が少ないと期待して使い始める方もいます。しかし、加熱式たばこの主流煙（喫煙者本人が吸い込む煙）にも多くの有害物質が含まれ、血圧や血管機能に悪影響を及ぼす可能性が報告されています。さらに、受動喫煙が生じる可能性も高いと明らかになっています。また、販売開始からの年月が浅く、長期使用に伴う健康影響は現時点では明らかになっていません。加熱式たばこであれば

「安全」とは言えず、御自身、そして御家族など周囲の人の健康のためには、紙巻きたばこでも加熱式たばこでも吸わないことがいちばんです。

長年たばこを吸っていても禁煙に遅すぎることはありません。たばこは、やめた時点から様々な効果が実感できると言われています。せきや息切れが改善し、スタミナや免疫機能も回復します。さらに、心臓病や脳梗塞、がんのリスクも低下します。日々の生活の中では、顔色や胃腸の調子が良くなり、目覚めがさわやかになるなどの変化を実感できます。

「禁煙したいけど、つい吸ってしまつてやめられない」と悩む方もいるかもしれません。たばこがやめにくいのは、意志が弱いからではなく、たばこに含まれるニコチンに依存性があるためです。禁煙補助薬を用いると、つらい離脱症状が抑えられ、比較的楽にやめることができ、自力での禁煙に比べて、成功率が高いという報告もあります。たば

こをやめようと思ったら、自分に合った方法について、医療機関や薬局に相談してみませんか。東部健康福祉センター健康増進課のホームページでは、管内の禁煙外来を開設している医療機関や禁煙支援を行っている薬局の名簿を掲載しています。



禁煙外来・禁煙支援
薬局情報はこちら

経営理念の大切さを問う

私たち社員にとって、会社の経営理念は単なる掲げられた言葉ではなく、日々の仕事

に向き合ううえでの大切な軸となるものです。忙しい日々の中では目の前の業務をこなすことに意識が向きがちですが、その中で「なぜこの仕事を行うのか」「何を大切に判

断すべきか」を示してくれるのが理念ではないでしょうか。もし理念が見えないまま仕事を続けていると、言われたことだけをこなす受け身の状態に陥りやすくなり、やりがいや成長の実感も薄れてしまうように感じます。

一方で、経営理念がしっかりと現場に浸透している職場では、仕事への向き合い方が大きく変わってきます。理念は私たちに「どこへ向かうのか」という方向を示し、日々の業務に意味を与えてくれます。自分の仕事が会社や社会にどのような役立っているのかを理解できると、自然と主体的に考え行動する姿勢が生まれ、仕事そのものに誇りを持てるようになります。

また、理念は判断に迷ったときの拠り所にもなります。数字や効率だけでは判断できない場合に直面したとき、「この会社が大切にしている価値は何か」と立ち返ることで、自分なりの基準をもって行動

することができます。このような判断軸があることで、安心してチャレンジできる環境が生まれ、結果として個々の成長にもつながっていくのだと思います。

さらに、理念が組織全体で共有されていることは、社員同士の一体感を高めるうえでも重要です。同じ価値観のもとで働くことで、目指す方向が自然と揃い、チームワークが高まります。互いに支え合いながら仕事を進める風土が育まれることで、組織全体としての力も一層発揮されるのではないのでしょうか。

だからこそ、経営理念はただ存在しているだけでは十分とはいえません。それを自分たちの言葉で理解し、日々の仕事の中で意識していくことが大切です。私たち社員一人ひとりが理念を「自分ごと」として捉えたとき、仕事の意味はより深まり、会社もより強い組織へと成長していくのではないのでしょうか。

会員紹介 クリーンサービス株

会社概要

商号 クリーンサービス株
所在地 沼津市西間門字神明
169-1
設立 昭和41年8月10日
資本金 24,000千円
代表者 代表取締役 久保田 真矢

当社は昭和41年8月に道路・側溝等の清掃を目的とし、商号をジャパンウォッシュ株式会社として法人設立致しました。その後、昭和49年9月

に現在の商号クリーンサービス株式会社に變更し、沼津本社、神奈川支店（神奈川県横須賀市）、静岡支店（静岡県静岡市）を主だった営業拠点として活動を行っております。

日々の業務におきましては、TVカメラ車等を使用する事による既設下水道維持修繕及び更生工事を主だつて行っており、次に路面清掃車、吸引車や高圧洗浄車などの専用機械を活用しての側溝や河川、

各種施設の清掃・浚渫作業、そして建設汚泥の産業廃棄物処分も行っており、収集運搬から処分まで一体的に行うことで、環境への配慮と効率的な施工の両立を図っております。加えて道路工事や下水道新設工事などの一般土木分野にも取り組み、インフラ整備と維持管理の両面から地域社会に貢献しております。

昨今は社会資本の老朽化が進み、下水道老朽化等を起因とする道路陥没事故が全国で多発しております。これは老朽化した下水道管の破損や継

手のずれにより土砂が流出し、地下に空洞が生じることが原因であります。これらを防ぐ為にも、私たちの役割はますます重要になっていと感じております。これからもこれまで培ってきた技術と経験を大切にしながら、お客様や地域社会の皆様へ寄り添い信頼される企業であり続けられるよう努めてまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会員紹介 山幸建設株式会社

会社概要

商号 山幸建設株式会社
所在地 御殿場市竈220番地
設立 昭和36年1月
資本金 2000万円
代表者 代表取締役 山崎万規子

当社は私の義父、山崎廣雄が昭和36年に設立し、土木工事を中心に営業しています。

平成15年に私が、二代目社長に就任して現在に至ります。創業以来、公共工事を主体に豊かな知識と長年の実績のもと、日々、「誠実な施工」と「安全第一」を目標として

業務を行っています。

今後も、地域の安全・安心を守るため、信頼出来る会社を目指します。



御殿場市内(山之尻)の道路工事
・地域住民が過ごしやすい環境を作る



御殿場市内(北久原)の河川工事
・安心安全な工事進捗管理を徹底する

現場代理人の声



(株)河西建設
エンクバト・パトダー

私はモンゴルから日本にきて3年目になります。モンゴルでも土木の勉強をしていました。日本とモンゴルで同じところもありますが、違いもたくさんあります。

日本にきて最初の会社は自分のやりたい仕事ができませんでした。河西建設にきて自分のやりたかった現場監督の仕事ができてとてもうれしいです。まだまだ勉強がひつようです。日本の色々なことをみんながやさしく教えてくれます。日本の建設業はレベルが高くてすごいです。むずかしいこともあります。でもすばらしい仕事です。

現場代理人としてはじめての仕事は電線共同溝でした。車や歩行者をとめずに仕事を

進めるので、安全に現場を進めることがとても大切です。

いつも緊張感をもってやりました。図面がない埋設物ができて、どのように進めていくかを考えたり、変更したり大変なこともありましたが。

現場では色々な考え方の人がいるので話しあうのも大変です。でもみんな安全を一番に考えて現場を進めました。毎日安全に仕事がおわる時

がいちばん嬉しかったです。

日本語を話すのは、どんなで

でも、漢字がとてもむずかしいです。書くのはとくにむずかしいです。日本語はひらがな、漢字、カタカナ、たくさん書きかたあって、おぼえることがむずかしいです。でもがんばって勉強しています。

資格をとりたいので、勉強しています。はじめての試験はマークシートのやり方をま

モンゴルと日本は文化のちがいがたくさんあります。でも困ると会社の仲間がおしえてくれて、たすけてくれます。

家族も元気にくらしています。3歳の子供は保育園をたのしんでいます。日本のうたをおぼえてうたっています。

アンパンマンと電車がすきです。モンゴルでは魚を食べないです。子供は保育園で魚もいろんなものを食べていてすごいです。元氣におおきくなっています。

日本で仕事をするのは大変なこともあります。けれども日本の建設技術を学んで、日本とモンゴルの架け橋となれるようになりたいです。



私の余暇

(株)室伏組 室伏良太

私にとって魚釣りは子供の頃から生活の一部である。

小学生の頃は学校を終えてから釣り竿を手にし、近所の川や池へ釣りに出掛けていた。しかし思うように釣れない時もあり、そんな時は家へ戻り水中メガネとタモ網を手にし、魚取りに没頭した事が思い出される。

社会人になると同時期に磯釣りを始め、そこから私の釣りバカ人生が始まった。

仕事の修行の為釣りに行けない時期もあったが、早朝から夜遅くまで仕事をし、週末になると海(磯)に出掛けるという日々をもう何年続けているだろうか。

仕事から離れると道具の手入れ、仲間との情報交換、仕掛けやエサ作り、そしてなにより魚が泳ぐ姿ばかりを考え

ている為、子どもたちがまだ小さかった頃は

「うちは母子家庭だね。」

と妻に言われた事もあった。

妻にとってはいい迷惑だったと思う。当時小さかった息子も今では、一緒に釣りに没頭している。

私が釣りを始め三十余年、現在は釣りメーカーのフィードテスターとして息子を含む若手の育成に努め、同時に各釣り場のマナーやルールにのっとり息子やクラブメンバーと釣りを楽しんでいる。

今後も息子と良き仲間と共に、安全で楽しい釣りをやり続けられる事ができればこれ以上の喜びはないだろう。





令和8年度静岡県優良建設工事表彰式
令和8年度静岡県優良業務委託表彰式

優良技術者
山本 誠一 (株山田組)

地域貢献
(株山田組)

令和8年度静岡県優良建設工事表彰式が、9月7日、静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」で開催された。当協会関係の受賞者は以下のとおり(敬称略)。おめでとうございます。

◎静岡県優良建設工事表彰式
[県交通基盤部長表彰]

優良建設工事表彰



令和8年度静岡県優良建設工事表彰式
令和8年度静岡県優良業務委託表彰式

優良工事
白幸産業(株)

〔県経済産業部農林水産統括部長表彰〕



ICT優良工事
株集組



令和8年度の静岡県優秀施工者として、9月9日に開催された建設産業構造改善推進のつどいにおいて、表彰が授与された。

廣部 昌樹(渡邊工業(株))

令和8年度優秀施工者知事表彰



主要行事予定

- ◎技術委員会・技士会・災害対策委員会合同研修旅行
(10月2日～3日・房総、横須賀)
- ◎東部農林・沼津土木優良工事等表彰式(10月6日)
- ◎全国建設業労働災害防止大会
(10月8日～9日・新潟)
- ◎安全委員会研修旅行
(10月8日～9日・新潟)
- ◎農地森林技術研修会
(10月16日)
- ◎現場管理者統括管理講習
(10月21日)
- ◎沼津工業高校インターンシップ(10月22日～23日・各受入れ会員)
- ◎県建設業協会理事会
(10月22日)
- ◎防災防静岡県支部大会
(10月28日・静岡労政会館)
- ◎道路啓開初動対応訓練
(10月30日)
- ◎強化安全パトロール
(11月4日・御殿場、小山)
- ◎土木の日出展
(11月14日・沼津港)
- ◎県建設業協会理事会
(11月26日)
- ◎インフラ見学会
(12月3日・東京都)

写真コンクール 作品募集

- 一、応募資格
・協会会員、家族、社員
・協力会社、家族、社員
注「いしずえ」の読者は対象外です。
- 二、課題
・自由
- 三、作品
・カラー又は白黒
・キャビネ、四つ切り、八つ切り
- 四、募集期間
・令和8年9月1日～
令和9年1月31日
- 五、作品の送付先
・(二)社沼津建設業協会
広報みらい委員会
- 六、賞金
・最優秀賞 一点 三万円
・優秀賞 二点 二万円
・佳作 五点 一万円
- 七、審査
・主催者広報みらい委員会
- 八、発表
・令和9年6月1日発行の「いしずえ」に掲載する。
令和8年度の定時総会にて表彰する。
- 九、募集上の注意事項
・応募作品は一人3点以内とする。作品名、作者名を表示すること。版權は、当協会に帰属する。